

331 道徳教育推進教師研修会、332 道徳教育スキルアップ研修会 レポート課題について（小・中学校）

1 内 容

- (1) 文部科学省「道徳教育アーカイブ」(<https://doutoku.mext.go.jp/>)にある「授業映像」のいずれか一つを視聴する。その際、「考え、議論する道徳」の授業を実施する上で工夫している点に注目して視聴する。
- (2) 授業映像における「考え、議論する道徳」の授業を実施する上での工夫点などを参考にして、小・中学校は教科用図書等（読み物教材）を活用した授業を行う。
- (3) 授業実践について以下の様式に沿ってまとめる。
(様式はセンターHP よりダウンロード可)

学校名	担当名（道徳教育推進教師・道徳主任等）	氏 名						
<p>1 授業実践（別紙参考資料「つばさ50号」p4、「つばさ51号」p3参照）</p> <p>(1) 主題名及び内容項目【例：困難を乗り越えよりよく生きる（Dよりよく生きる喜び）】</p> <p>(2) 教材名及び出典 【例：真海のチャレンジ（出典：「私たちの道徳5・6年」 文部科学省）】</p> <p>(3) ねらい</p> <p>(4) 学習指導過程（例） 発問や児童生徒の反応を簡条書きで記す。（中心発問には◎をつける）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">過程</th> <th style="width: 40%;">主な発問</th> <th style="width: 50%;">児童生徒の反応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> <p>○大学へ復帰した真海さんは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>◎これだけ辛い思いをしているのに、さらに自分で苦しいことに挑戦するのはなぜなのでしょう。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・また大学に来てうれしい。 ・辛くて余計に苦しくなってしまう。 ・このままではだめになる。 ・こんな自分は許せない。 ・自分ができることに挑戦したい。 </td> </tr> </tbody> </table>			過程	主な発問	児童生徒の反応		<p>○大学へ復帰した真海さんは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>◎これだけ辛い思いをしているのに、さらに自分で苦しいことに挑戦するのはなぜなのでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・また大学に来てうれしい。 ・辛くて余計に苦しくなってしまう。 ・このままではだめになる。 ・こんな自分は許せない。 ・自分ができることに挑戦したい。
過程	主な発問	児童生徒の反応						
	<p>○大学へ復帰した真海さんは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>◎これだけ辛い思いをしているのに、さらに自分で苦しいことに挑戦するのはなぜなのでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・また大学に来てうれしい。 ・辛くて余計に苦しくなってしまう。 ・このままではだめになる。 ・こんな自分は許せない。 ・自分ができることに挑戦したい。 						
<p>(5) 評価の視点</p> <p>(6) 「考え、議論する道徳」に向け工夫した点と授業での成果</p>								

- 2 提出期限 **令和2年11月27日（金）まで**
- 3 提出先 以下のメールアドレスにレポートを添付して提出
- 4

アドレス：ypec-kensyuka@kai.ed.jp
 件名：【学校名：氏名】道徳レポート

- 5 書式等 A4版2ページ以内

☆校内事情等により自身で授業実践ができない場合は、校内の他の先生による授業実践でもよい。